

③④ どうじゃこう (岐阜県無形民俗文化財・関市南春日町)

毎年4月第3土曜日の翌日の日曜日に春日神社の能舞台にて行われる中世的^{なま}神事芸能です。「四方浄め」、「薙刀振り」、「棒振り」、「宝獅子」、「箕獅子」、「どうじゃこう」、「豊年踊り」の7番で構成されています。演目の中で注目されるのが、6番の「どうじゃこう」です。2体の木偶と小さい松明を木箱に載せ、縄を引き、大きな松明に火を付ける「お船渡し」を行います。

「お船渡し」は関市以外では静岡県浜松市水窪「西浦の田楽」、長野県阿南町「新野の雪祭り」の2カ所で伝承されているだけです。美濃地域における中世芸能の伝播と受容のあり方を考える上で、非常に重要なものといえます。



関の文化財探訪

その 19

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313



③⑤ 春日神社 能舞台

(関市指定文化財・関市南春日町)

関鍛冶の守護神を祀る春日神社には国重要文化財の能面や能装束をはじめ多くの文化財が伝わっています。

棟札から寛文5年(1665年)に再建され、嘉永2年(1849年)に修理したことがわかっています。また、昭和34年(1959年)の伊勢湾台風の際に大破し、昭和36年(1961年)に修復されています。能舞台は銅板葺きの切妻造りです。

舞台と舞台の南東にある鏡の間は仮設式橋掛けで繋げられるようになっています。この能舞台がいつごろ作られたのかはわかりませんが、室町時代にさかのぼる可能性もあり、貴重な文化財であるといえます。

【アクセス】 長良川鉄道・刃物会館前駅から徒歩約5分
東海北陸自動車道・関 IC から車で約10分

